

黎明館で祭
黎芸美術

松陽高生の「宝物」、500点

「3年間の集大成をご覧いただきたい」と話す松陽高校3年生

11月17日、鹿児島市の黎明館



松陽高校生の作品を展示する第21回松陽芸術祭が、鹿児島市の黎明館で開かれている。個性と工夫が光る絵画や彫刻、書が来場者を楽しませている。入場無料。21日まで。

同校美術科や普通科書道コース、美術部、書道部の1～3年生の力作500点以上を展示。1階には、美術科21期生にあたる3年生が「宝石箱」というテーマで設営を担当し、170点余りが並

ぶ。3年間の成長や気持ちの変化を表した長さ7呎の垂れ幕をはじめ、21期生と教員を大行列風にユーモラスに描いた日本画などが目を引く。

企画担当の美術科3年新留璃子さんは「恩師や家族に感謝の気持ちを込め、“宝物”のような作品を詰め込んだ展覧会」と話した。21日午後1時半から生徒によるギャラリートークがある。

(福留梓)